

新庁舎の特色

●利用しやすく親しみやすい快適な庁舎

新庁舎本館(木造増築棟)に、住民の方の利用が多い窓口部門を集め、利便性を高めています。

間仕切りのあるローカウンター仕様で、プライバシーに配慮しながら、誰もが利用しやすいデザインになっています。



●木の温もりを感じる開放的な庁舎

新庁舎本館は熊本県産の松と杉、カウンターには南関杉を活用しており、また2階まで吹抜けになっていますので木の温もりも感じつつ、開放感のある作りになっています。



●旧南関高校校舎を活用し、町のシンボルとなる庁舎

高校校舎時代の黒板や建具を活用した執務室、障子や竹のモニュメントなどにより和モダンな雰囲気デザインの議場など、校舎を活用した全国でもかなり珍しい庁舎です。

敷地面積が約35,000㎡と広大で、まちづくりの拠点となる庁舎です。



●安全・安心な防災拠点となる庁舎

庁舎敷地内に2つの防災広場(約5,500㎡と約3,500㎡)と3つの駐車場(約200台)、防災備蓄倉庫と防災拠点センターを備えています。敷地内には有明消防南関分署も建設され、防災の拠点となる庁舎です。



南関町役場新庁舎 1月4日開庁!



新庁舎施設の概要

庁舎新住所	関町64番地
敷地面積	35,208㎡
建築面積	3200.39㎡ ・本館：1016.22㎡ ・北・南館：2184.17㎡
延床面積	5478.64㎡ ・本館：1406.38㎡ ・北・南館：4072.26㎡
構造	庁舎本館(木造2階) 庁舎北館・南館(鉄骨造3階)
設計・監理	株式会社 内藤建築事務所
施工	東急・興亜特定建設工事 共同企業体

令和2年6月から進めてまいりました旧南関高校を活用した新庁舎の改修・増築工事が完了し、1月4日からいよいよ新庁舎での業務を開始します。これまで旧庁舎に配置していた全ての部署が新庁舎へ移り、小原の保健センター(福祉課・保健予防係)や地域包括支援センター(地域包括係)も新たに健康推進課として新庁舎で業務を行うこととなります。

南関町の新たなまちづくりの拠点として住民の皆さんの安全・安心な生活を支えるとともに、すべての部署が一つの庁舎に集約されることで、来庁者の利便性向上及び業務の効率化など、より一層質の高い行政サービスの提供を目標としています。

防災拠点となることはもちろん、住民の方の憩いの場としても利用しやすい新庁舎へ、ぜひお越しください。

なお、各課配置図を6〜7ページに掲載しています。